

2 学校関係者評価について

教育指導課へ提出した「学校関係者評価」の内容について、学校評価委員長より説明。(下記参照)

3 令和4年度 教育課程について

教育委員会へ提出した「令和4年度教育課程について(届)」に沿って、学校長より説明。

⇒教育目標・指導の重点を承認。

令和4年度の学校行事について説明。

⇒行事予定を承認し、保護者への情報提供を決定。但し、運動会の日程が文京第九中学校の運動会と重なっているため、日程決定の経緯を保護者へ丁寧に説明するよう求める。

4 令和4年度 学校運営協議会年間計画について

年7回開催とし、各回での協議内容の予定について校長より説明。⇒承認。

5 その他

①次年度の白山まつり・鼓笛隊の出演について ②学校前歩道の路面標示について

③駒込青少年健全育成会主催「音楽会」について ④学校施設のネット予約運用開始について

※学校運営協議会終了後、令和3年度第3回地域教育協議会を実施。内容については次号に掲載予定。



◆ 令和3年度学校関係者評価について ◆

学校評価は令和3年11月頃から、児童・保護者・教職員・学校運営協議会委員に各々の立場で実施していただきました。その4者の評価をまとめて相関性等を考慮しながら、学校全体を評価する「学校評価委員会」を開催いたしました。本校の場合、学校評価委員会の委員は学校運営協議会委員が兼任しています。(学校評価委員長/水木優香)

評価の重点項目は、①一人一人を大切にする人権教育が徹底されているか、②学力・体力の向上が図られているか、③学校力を向上させる組織的運営が行われているか、④保護者・地域との連携が図られているか、以上4項目となっています。各項目に沿った学校評価のほか、総括として以下の意見を添えた「学校関係者評価表」を教育委員会へ提出いたしました。

◎保護者や学校運営協議会委員からの学校評価が高い水準を保っていることは非常に素晴らしい。人権教育・インクルーシブ教育の実践と学校情報の開示が進み、信頼関係が構築されている。

◎保護者や地域を含め、本校全体が一步先を見て動くことが出来る組織として、計画的かつ臨機応変に機能していることがコロナ禍で立証された。今後もコミュニティ・スクールの利点を活かしつつ、問題解決能力の高い組織を維持してくれることを期待している。

◎更なる学校力向上を目指した組織的運営を推進して欲しい。特に児童の体力向上に関してはここ数年課題として上がっているので、体育科の指導力や授業力の高い教員を中心に研鑽を重ねていただきたい。

◎教育環境改善に、今後も行政からの力をお借りしたい。特に特別支援学級は在籍児童数の増加が見込まれ、本校教員や学校施設への負荷が大きくなっている。区内3校目の情緒特別支援学級の設置小学校を早期に検討する等、区全体としての教育環境改善を急いで欲しい。